

# 一般質問

12月議会では18人の議員が一般質問に立ちました。

大丈夫？

小・中学生の基礎学力!!

伊川議員

(1)教育行政について

小・中学生の学力について  
新学習指導要領のもと、ゆとり教育が進められているが、教科内容の削減や、週休2日制で授業時間が減ったことによる学力の低下が懸念されている。本市の基礎学力の現状と、学力を上げるための取り組みはどうか。

低学年補助員について次年度以降も配置の考えはないか。

(2)企画商工行政について

上駅通りの再開発事業は2年延長になったが、三位一体の改革の影響も不透明、市の財政健全化計画も作り直しという状況下で、市が支援する額を幾らに、そしてそれをいつ決断されるつもりか。市民の大きな不満と疑問を積み残したままいたずらに月日が経つばかりである。危機的財政状況をきちんと説明し、市

民の参画で中心市街地の再生・活性化に取り組むワークショップを開いてはどうか。

教育長

(1)平成15年度基礎学力調査の結果は、県が示した平均

点に対し、小学校の国語はおおむね良好、算数は量と測定、数量関係がやや劣っていた。中学校の国語はおおむね良好、数学は数量関係にちよつと不十分な面が見られた。英語は特に聞くことが優れていた。確かな学力定着・向上には、わかる授業の実践とそれを可能にする教師の資質の向上、それに児童・生徒の学習意欲の喚起が必要である。現在、学力テストと学習意識調査の相関についての分析・活用研修会を行っており、今後

も継続していきたい。

教育次長 低学年補助員は不可欠であるので、財政当局に予算要求をしている。

総務部長

(2)地方財政計画が平成

16年の12月中に示される予定である。それを基に内部で詰め、公表できる数字を固めたい。

市長 財政健全化計画の見直しを行っており、どの程度の支援ができるか、今年度内の早い時期にめどを立てたい。ワークショップは、非常に良い方法だと思う。市民意識調査を行い、その分析結果を受け、準備組合と十分協議しながら、ワークショップについて検討したい。

(その他の質問事項)

保健室登校の子どもたちへの学習サポート体制について。

少子化対策について。

森園公園について。

市立病院について

北九州八幡西区と本市は歴史的に長崎街道を共有することから交流都市の形成を問う

小林議員

(1)市立病院について

H8年に第一次市病再建計画が実施され、かつ、H13年に二次再建計画が実施され共に5ヶ年の計画で9年の歳月が終わろうとしている。その間、医業収益及び内外来患者の減少は顕著である。国の医療費抑制政策も要因であるが、市病の経営再建は成就していない事は市民の周知するところである。今日累積赤字59億強、H4〜15年迄の間、市民の税金は77億強が市病に注ぎ込まれてきた。かかる事態の回避策として公営法の全部適用

が実施される。今後の経営再建策を問う。

(2)企画商工行政について

八幡西区と本市の交流はH10年から始まり、郷土芸能交流として木場の龍踊り黒田24旗と共に交流派遣を行ってきた。本年10月には八幡の空に木場の龍踊りが舞い上り、これも歴史的に長崎街道を共有する所以であります。今後、物産、資料交流も重ね合いながら歴史的な長崎街道を絆とした本市と西区の交流都市の形成を問う。



市立病院